

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー演習	共通	2年生・通年	2単位	選択	平川 淳一
履修の前提条件	自らの意志で国家資格ITパスポートの取得を望み、最後までやり遂げる強い意志を持っていること。 ※注意事項: プリント類を管理するためのファイルを1冊準備しておいてください。 ※禁止事項: 授業と関係のない機器の使用、許可のない入退室は禁止します。				
授業概要 (Course Outline)					
働く人が共通して備えておきたい情報技術や企業活動に関する基本的な知識を幅広く問われるのが、情報技術者試験のITパスポートです。この国家試験で問われるストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系の3つの分野の出題範囲を過去問題を通じて網羅してしていきます。四択一択の正答内容のみならず、他の選択肢についての用語や概念なども併せて確認していきます。受講者全員のITパスポート試験合格を目標としています。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving				○
	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
市民としての社会的責任 Social Responsibility					
生涯学習力 Lifelong Learning					
到達目標 (Objectives)					
経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格である情報技術者試験 ITパスポートの取得を目指します。					
事前学習の内容	授業第1回目: ITパスポート試験の出題範囲全体を確認して、受講済みの科目や当期履修予定の科目との関性を必ず確認しておくこと。 第2回目以降: 理解度が乏しいと感じる場合、参考書籍を購入して、予習をしておくこと。				
事後学習の内容	この科目で学んだ内容は他科目との関連性が高いので、履修中の他科目でも知識を深めて、さらなる理解に努めること。 不正解だった問題や苦手分野については反復学習かつ、類似問題を解いて補強しておくこと。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの項目ごとに、復習+理解度確認のためのCheckテストを実施します。 配付したプリントはファインディングして管理してください。 配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、この科目の自分なりのテキストを作り上げてください。 ※授業終了時にプリントを確認して、ポイントを付与します。 ①解答のみ 1pt ②誤答の解説を記録 2pt ③他の選択肢の理解不足の部分も記録 3pt					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
出講日: 開講中の木曜日					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: ITパスポート試験 試験日 : 随時試験(受験会場に確認) 受験料 : 5,700円(税込) 試験会場: 福岡県4会場(博多駅近隣 2会場、北九州 1会場、久留米 1会場) 受験には、事前に受験者IDの登録が必要となります。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(授業とITパスポート試験の概要。過去問題にチャレンジして現状を把握してもらいます。)		
第2回	ストラテジ系① 1. 経営・組織、2. OR・IE	マネジメント系③ 28. サービスマネジメント～30. ファシリティマネジメント	
第3回	ストラテジ系② 3. 会計・財務	マネジメント系④ 31. システム監査～32. 内部統制	
第4回	ストラテジ系③ 4. 知的財産権～8. 標準化関連	Checkテスト マネジメント系 (20問) 6: サービスマネジメント	
第5回	Checkテスト ストラテジ系 (20問) 1: 企業活動と法務	テクノロジー系① 33. 離散数学～35. 情報に関する理論	
第6回	ストラテジ系④ 9. 経営戦略手法～11. ビジネス戦略と目標・評価	テクノロジー系② 36. データ構造～39. その他の言語	
第7回	ストラテジ系⑤ 12. 経営管理システム～14. ビジネスシステム	Checkテスト テクノロジー系 (20問) 7: 基礎理論	
第8回	ストラテジ系⑥ 15. エンジニアリングシステム～17. 民生機器・産業機器	テクノロジー系③ 40. プロセッサ～44. システムの評価指標	
第9回	Checkテスト ストラテジ系 (20問) 2: 経営戦略	テクノロジー系④ 45. オペレーティングシステム～49. ハードウェア	
第10回	ストラテジ系⑦ 18. 情報システム戦略～21. システム活用促進・評価	Checkテスト テクノロジー系 (20問) 8: コンピュータシステム	
第11回	ストラテジ系⑧ 22. システム化計画～24. 調達計画・実施	テクノロジー系⑤ 50. ヒューマンインタフェース技術～53. マルチメディア応用	
第12回	Checkテスト ストラテジ系 (20問) 3: システム戦略	テクノロジー系⑥ 54. データベース方式～57. トランザクション処理	
第13回	マネジメント系① 25. システム開発技術～26. 開発プロセス・手法	Checkテスト テクノロジー系 (20問) 9: 技術要素①	
第14回	マネジメント系② 27. プロジェクトマネジメント	テクノロジー系⑥ 58. ネットワーク方式～63. 情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術	
第15回	Checkテスト マネジメント系 (20問) 4: 開発技術、5: プロジェクトマネジメント	Checkテスト テクノロジー系 (20問) 9: 技術要素②	
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリントを配付			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
平成30年度 ITパスポート試験合格教本	岡嶋 裕史	技術評論社	978-4-7741-9323-6
よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 平成30年度	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-338-0
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>・成績評価方法: 平常点 40%、Checkテスト 20%、定期試験 40%(※外部試験 50%) ※平常点は、学習意欲、受講マナー、獲得ポイント数を見て総合的に評価する。 ※定期試験をITパスポート受験(外部試験)に代えることを認める。(事前に申し出ること。) その場合、合否結果ではなくITパスポート試験の得点が成績評価上、考慮される。 ※定期試験前にITパスポート試験に合格した者は、定期試験を免除する。</p> <p>・成績評価の基準: ①第1回授業で把握した苦手分野についての理解度が向上しているか。 ②ITパスポート試験の過去問題において各分野での正答率が60%以上の実力を要しているか。</p>			